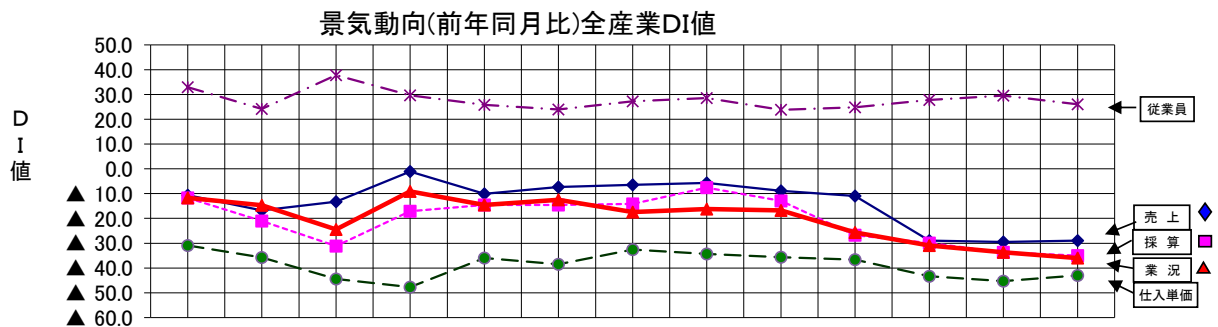


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 1月分

【1月の概要】 業況回復の動きは鈍く、先行きは依然として慎重な見通し

12月の業況判断に比べると、売上D Iは若干のプラスとなったが、採算D I・業況D Iはマイナス幅が増加した。仕入単価D Iはマイナス幅が減少し、従業員D Iはプラス幅が減少した。売上の減少、人件費の上昇などとともに、建設業の少雪による除雪作業の受注減、天候不順による原材料の高騰など、外的要因による影響も出てきている。

先行きの見通しについては、12月に比べ、売上D Iはマイナス幅が減少したが、採算D I・業況D I・仕入単価D Iはマイナス幅が増加し、従業員D Iはプラス幅が減少した。消費増税の影響、天候や海外情勢などの不安定要素もあり、今後も慎重な見通しが続く。



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2019年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年 1月
売上	▲ 10.6	▲ 16.8	▲ 13.3	▲ 1.1	▲ 10.1	▲ 7.3	▲ 6.5	▲ 5.7	▲ 8.9	▲ 10.9	▲ 28.9	▲ 29.5	▲ 29.0
採算	▲ 11.7	▲ 21.1	▲ 31.1	▲ 17.1	▲ 14.6	▲ 14.6	▲ 14.1	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 26.7	▲ 29.9	▲ 33.7	▲ 35.0
業況	▲ 11.7	▲ 14.7	▲ 24.4	▲ 9.1	▲ 14.6	▲ 12.5	▲ 17.4	▲ 16.2	▲ 16.8	▲ 25.7	▲ 30.9	▲ 33.7	▲ 36.0
仕入単価	▲ 30.9	▲ 35.8	▲ 44.4	▲ 47.7	▲ 36.0	▲ 38.5	▲ 32.6	▲ 34.3	▲ 35.6	▲ 36.6	▲ 43.3	▲ 45.3	▲ 43.0
従業員	33.0	24.2	37.8	29.6	25.8	24.0	27.2	28.6	23.8	24.8	27.8	29.5	26.0

売上D Iは0.5ポイントプラス、採算D Iは1.3ポイント、業況D Iは2.3ポイントのマイナス、仕入単価D Iは2.3ポイントのプラス、従業員D Iは3.5ポイントプラス幅が減少した。

全産業平均D I - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
11月	▲ 17.5	▲ 24.7	▲ 22.7	▲ 34.0	23.7
12月	▲ 19.0	▲ 25.3	▲ 24.2	▲ 30.5	28.4
1月	▲ 17.0	▲ 26.0	▲ 28.0	▲ 38.0	22.0

先行き見通しでは、売上D Iが2.0ポイントのプラス、採算D Iは0.7ポイント、業況D Iは3.8ポイント、仕入単価D Iは7.5ポイントのマイナス、従業員D Iは6.4ポイントプラス幅が減少。

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	設備工事	売上は確保できているが、人件費の増加により前年より収益は減少している。
	土木業	少雪の影響で予定していた除雪の受注がなく、厳しい状況が続いている。
製造業	機械	中国を中心とした受注減少に加え、人件費、仕入価格が上昇している。
	食品	気候が不安定だったため、原材料価格が大幅に上昇した。
卸売業	機械工具	消費増税に伴う売上の落ち込みが予想以上に大きく推移している。
	衣料品	顧客減少に歯止めがかからない。新たな商材で営業力強化を図っている。
小売業	家具・雑貨	売上が上がっても固定費、特に物流費の上昇が止まらず、収益を圧迫している。
サービス業	ソフトウェア	中小企業向けの販売が減少しており、収益減となっている。
	運輸	国内輸送量の減少傾向が続く中、人件費、外注費の増加により厳しい経営状況が続く。
	タクシー	労働力不足により売上は減少。オートガス、ガソリンの価格が上昇している。